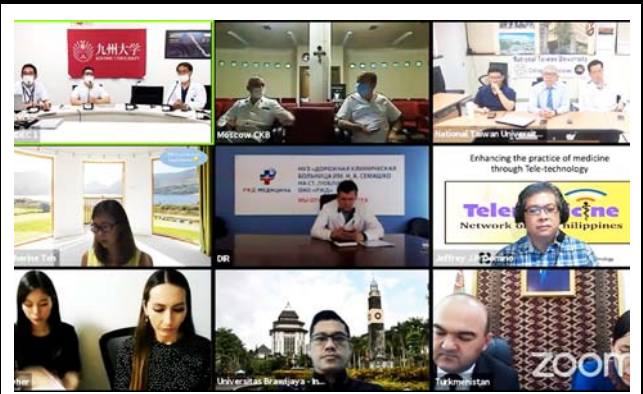


<p>【イベント名】 第2回 国立台湾大学との救急医療テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 第2回の救急医学テレカンファレンスも新型コロナウイルス感染症をテーマとした。九大と台湾大学からそれぞれ、前回からのアップデートや感染対策、治療法などが報告された。それに対して状況が比較的落ち着いているフィリピンやインドネシアのほか、患者数が増えてきているロシアや中央アジアから多くの質問があり、活発な議論が行われた。中央アジアの政府関係者も多数参加し、実りの多い会議となった。</p>
<p>【期日】 2020.05.20</p>	
<p>【会場】九州大学病院 (日本), 国立台湾大学 (台湾), セントルークス医療センター医師自宅: マニラ (フィリピン), セントルークス医療センター ケソン市 医師自宅: ケソン (フィリピン), 国立腎臓・移植センター 医師自宅: ケソン (フィリピン), ダウ健康科学大学 (パキスタン), ブラウィジャヤ大学 (インドネシア), ロシア鉄道中央第一病院 (ロシア), ロシア鉄道 中央健康管理局 (ロシア), ロシア鉄道 リュブリノ駅ニコライ・セマシコ病院 (ロシア), ロシア鉄道ヴォロネジ病院 (ロシア), ウズベキスタン保健省 (ウズベキスタン), トルクメニスタン保健・医療産業省 (トルクメニスタン), 駐日トルクメニスタン大使館 (日本)</p>	



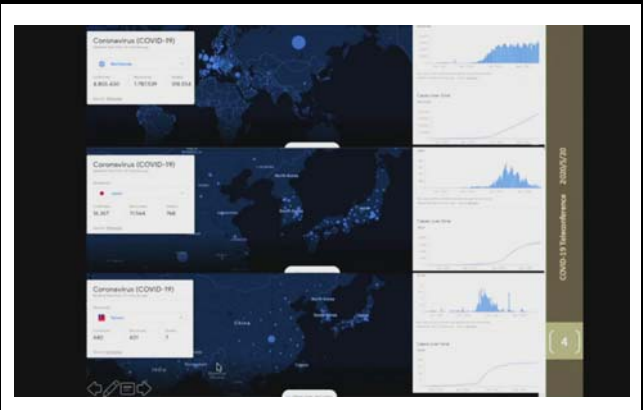
国立台湾大学の様子。
撮影場所：国立台湾大学



モニタに映し出される接続施設。
撮影場所：九州大学病院



トルクメニスタン保健・医療産業省の様子。
撮影場所：九州大学病院



提示されたスライド。
撮影場所：九州大学病院



九州大学病院の様子。
撮影場所：九州大学病院



ダウ健康科学大学の様子。
撮影場所：九州大学病院